

METTS NEWSLETTER

特集 教員採用試験卒業生の喜びの声！

METTS NEWSLETTER11月号で、2021年度教員採用試験最終結果報告として、8人の現役生の喜びの声を紹介いたしました。本号では、3人の卒業生の喜びの声を紹介したいと思います。合格した卒業生の皆さん、今までの努力をたたえとともに、4月からの教育現場に夢をはせながら足元を固める意味でも3月末まで教材研究等の準備をしっかりとってほしいと希望いたします。

大学を卒業してから大学に通算2年通い、教員免許を取得しました。教員としての実績がなかったため講師からのスタートになりましたが、講師だからこそ学べるのが数多くありました。教員になってから大切なのは謙虚な姿勢で学び続けることです。これから採用試験を受験する皆さんも合格、不合格に関わらず、謙虚で素直な姿勢で頑張ってください。



山口拓哉
さん(千葉県
小学校)

現場で勤務をしながら勉強時間を確保することは難しく、大変な時期もありました。先生方には面接対策など、大変お世話になりました。皆様に支えていただいたおかげで合格を勝ち取ることができました。ありがとうございます。新たなスタートに向けてこれからも頑張っていきます。



大野浩輝
さん(埼玉県
高英語)

在学時代、学生ボランティアとしていくつもの小・中・高校に行く機会をMETTSの先生方からいただきました。学生時代から教育現場で子どもたちの様子や現役の先生方の指導をみさせていただくことで、講義で学んだことをより理解することができました。また、知識を自分の経験談にすることができ、採用試験の面接や模擬授業でも自信を持って臨むことができました。



鈴木海優さ
ん(千葉県
中高英語)

教員採用試験合格体験報告会

11月26日(木)、2021年度教員採用試験(東京都、千葉県、埼玉県)に合格した7人の4年生(寺内さん、中村さん、神谷さん、服部さん、白井さん、金子さん、平原さん)が、教職課程履修の2、3年生13人に向け、合格するまでの苦労した話や最終合格を手にした時の喜びなどを熱く語ってくれました。

先輩方の体験報告を聞いた英米語学科の学生は、「今すぐはじめなければなど改めて感じました。教職を生涯の職業として選びたいとさらに強く思うようになりました。そのためには今まで以上に勉強しなくてはならないという実感がわいてきました。またMETTSで色々な講座が開かれるのを知り、積極的に参加したい」との感想を述べてくれました。

※写真撮影のためマスクを外しています。



発表した7人の学生



合格体験報告会

2021 明海大学「大学と地域連携の未来」シンポジウム(予告)

日時 2021年2月6日(土)11:30から16:30
基調講演 講師 佐藤明彦氏(教育ジャーナリスト(株)コンテキスト代表)
演題 「コロナ禍で変わる学校教育のカたち」
—熊本市「奇跡のオンライン授業」を振り返って—
※<オンラインによる開催の可能性が有ります。>

アゴラ活用状況(人)	
11月	1,180
2018年度 から延べ数	31,208

地域学校教育センター関連事業等

2020年度の「あけみ英語村」を終えて

教職課程センター 金子 義隆

11月24日(火)午後、足立区との教育連携事業の一環として「明海大学あけみ英語村」が開催されました。足立区立大谷田小学校の6年生40人が参加してくれました。肌寒い曇り空の日でしたが、子供たちは2つのプログラムに積極的に参加し、英語の魅力と、明海大学の素晴らしさ、学生の優しさを感じ取ってくれました。コロナ禍での実施ということで、昨年までとは異なる2つのプログラムを用意しました。一つはコミュニケーション・アクティビティで、パトリツィア先生とタイソン先生が6年生向けの英語活動としてクイズを行いました。もう一つはイングリッシュ・キャンパス・ツアーとして、各グループの小学生に明海大学の学生と留学生が英語で学内を案内するプログラムです。本学でしか体験できない充実したプログラムとなりました。あけみ英語村を通して小学生は「英語は楽しい」「英語が通じる」といった成功体験を積み重ねることができたと思います。また、本学の留学生と教職課程の学生ボランティアが、小学生に英語で積極的に声を掛け、コミュニケーションに配慮しながら自分たちの役割を果たしてくれました。まさに学生と教員、職員がONE TEAMになって取り組んだ結果であり、ひとつの「完成形」として記憶に残る「あけみ英語村」になったと確信しています。今年度のあけみ英語村は、10月29日に開催した足立区立渚江小学校と当記事の大谷田小学校の2回で全日程が終了しました。明海大学は今後も足立区と連携し様々な取組を通じて、地域学校教育やグローバル人材の育成にも貢献していきます。



東京都立広尾高等学校国語科授業視察研修

11月13日(金)、本学教職課程を履修している日本語学科3年生13人と4年生1人は、高野副学長、大池教職課程センター副センター長、木内教授の引率で、東京都立広尾高等学校を訪問して国語科授業視察研修を実施しました。新学習指導要領を先取りした都立高校の国語科の授業を見学することにより、今後の国語科教育法や教育実習に役立てることが目的でした。同校の5時間目、6時間目に同時展開されている6人の先生方の、「伊勢物語」「山月記」「旅する絵本」等の教材の授業を視察しました。都立広尾高校は、全国高等学校国語教育研究連合会の会長を務める佐藤和彦校長の下に改訂された高等学校学習指導要領国語編で3人の教員が執筆者となっている国語教育に実績のある学校です。授業視察後は、佐藤和彦校長と藤丸倉太教諭から「教師の魅力」等の講話をいただき、参加した学生は様々な質問をして教職に就くことの意義を深めました。

4年生として参加した服部美優さんは、「4月から東京都の国語科教諭になる私にとっては、やってみたいことが具体的に次から次へと浮かんでくる一日であった」等の感想がありました。14人の学生は、目には見えないけれど、大きなお土産を手にする事ができたと思います。

明海大学生が独自企画で児童生徒にプレゼン発表！

10月30日(金)浦安市内の地域福祉センターにおいて、浦安市学習支援「ドラフトゼミ」の活動で、高橋勇氣さん(英米語学科3年)と及川龍之介さん(英米語学科2年)が、家庭に特別な事情がある児童生徒や、不登校気味になってしまっている児童生徒など、何らかの事情を持って生活している児童生徒12人を相手に、英語の面白さや英語を学ぶ意義、春休みに体験したオーストラリア研修で学んだことなどを発表しました。

この発表は企画から日程調整、チラシ作りなどすべて学生自身の手で作上げたものです。参加した児童生徒は目を輝かせて発表を聞いていました。明海大学の4人の学生(高橋さん、及川さん、佐久間さん、君塚さん)は、週3日ローテーションを組んで、昨年度から小学生、中学生、高校生への学習支援を継続的に積極的に行っています。



玉貫美幸さん

「12月からMETTSのスタッフとして勤務していただきます玉貫です。学生の皆さんから元気をいただいています。今後ともよろしくお願いたします」